

## 原子力リスク研究センター（NRRC） 第16回 原子力経営責任者会議 議事録

1. 日 時：2023年5月11日（水）15:00～17:00
2. 場 所：電力中央研究所（大手町本部）役員大会議室、WebexによるWeb会議併用
3. 出席者：
  - 主査：アポストラキス（NRRC）
  - 委員：古川（北海道電力；舟根代理）、金澤（東北電力）、福田（東京電力 HD）、  
椎名（中部電力；伊原代理）、福村（北陸電力）、松村（関西電力）、  
北野（中国電力）、渡辺（四国電力；山田代理）、林田（九州電力；豊嶋代理）、  
剣田（日本原電）、松田（日本原燃）、首藤（電源開発；萩原代理）、朝岡（NRRC）
  - オブザーバー：中熊（電事連）、尾野（原安進）、魚住・富岡（ATENA）、  
メザープ（NRRC）
  - 幹事：古田（NRRC）
  - NRRC 幹部：吉田、米田、岩島、桜本、西、松山

### 4. 議 題：

#### (1) 2022年度 研究成果について

NRRC より、2022年度研究成果概要について説明した。

#### (2) NRRC 活動状況

NRRC より、リスク情報活用推進チームによる PRA 教育活動の実施状況と次年度計画が報告された。

#### (3) 所長との意見交換

わが国におけるリスク情報の活用の促進、特に規制機関におけるリスク情報の活用をテーマに意見交換を行った。

#### (委員からの主なご意見)

- ・原子力規制委員会の方々には日本の故障率をはじめ事業者 PRA の適切性を合理的に説明できるようにしていかなければならない。
- ・ NRA との信頼関係を構築するのが規制へのリスク情報活用導入の一番の近道だ。

#### (所長からの主な意見)

- ・産業界がPRAを使って、NRAが規制しようと考えていなかったことに対し安全向上策を一つでも提示することができれば、規制側の考えも変わるのではないか。
- ・まずはPRAを活用することにより安全が向上するという、そのマインドに規制当局を持っていくという考えが必要だ。

以 上